

[スパークル]
Sparkle
Surugadai University News

2026
summer

特集

「文系×データ・AI」のかけ算で未来を拓く

2026年2月に文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」に認定された授業『データリテラシー演習』の実態に迫ります。

財務状況報告2025年

CROSSTALK 学内で掴む MOS 合格

活動報告 2026年4月～7月

駿大スポーツ カヌー部 齋藤 徹平選手

2026年度 表彰学生発表

Circle and Me DICE × 牧田 七海さん



「文系×データ・AI」のかけ算で未来を拓く



「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」認定制度は、デジタル時代の「読み・書き・そろばん」ともいえる数理・データサイエンス・AI に関する大学・高等専門学校の教育プログラムのうち、一定の要件を満たすものを文部科学大臣が認定し後押しする制度です。2026年2月、本学の取り組みがリテラシーレベルに認定されました（認定期間：2025年4月1日～2030年3月31日）。



センターの各教員は、それぞれ異なった専門領域を持ちながら、学生の皆さん一人ひとりに寄り添ってサポートしています。コンピュータに苦手意識を持っている人も、どうぞ安心して気軽に相談してください。



情報処理教育
センター長
藤川 浩

現在、私たちの暮らしは、通販サイトの「あなたへのおすすめ」機能や、スマートウォッチの生体情報を活用した健康管理、AI検索など、すでに多くのデータやAIであふれています。データやAIの活用が広がる新たな時代を生き抜くためには、文系・理系を問わず、リスクを正しく把握しながら適切に技術を活用する「データリテラシー」が必須のスキルです。

全学部2年次必修科目『データリテラシー演習』では、「社会に出たとき、本場に役に立つ力を習得してほしい」という熱い想いのもと、一人ひとりの理解度に合わせた指導を行っています。さらに心強いのが、受講生を丁寧にサポートしてくれる先輩学生「Student Assistant (SA)」の存在です。実習中に行き詰まったときやPC操作で迷ったとき、同じ学生の目線から優しく、きめ細かに声をかけてくれます。先生、そして頼れる先輩たちがチームとなって、受講生一人ひとりの「できた!」を全力で応援します。



情報処理教育センターの詳細な情報は上記二次元コードからご覧ください。

本学の情報処理教育センターは、2010年の設置当初からアットホームで親身な学びの場を提供してきました。学生の情報処理能力の向上および本学の数理・データサイエンス・AI教育を推進するため、2025年度より基礎教育科目『データリテラシー演習』を開講し、2026年2月に文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」に認定されました。今回は、この授業の実態に迫ります。

駿河台大学の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」によって身につけることができる能力

1. データ・AIによる社会変化を自分事として捉え、興味関心を持って主体的に知識を習得し活用できる。
2. データ・AIの活用領域の広がり理解し、その価値を具体的な事例を用いて説明できる。
3. データの収集、読み取り、分析ができ、適切な可視化手法を用いて他者に説明できる。
4. データ・AI利活用に関するリスク・モラルの基礎知識を習得し、これらを適切に利活用できる。



「数式」ではなく「身近なギモン」から紐解く 文系のための学修プログラム

本プログラムで開講する『データリテラシー演習』は、数理・データサイエンス・AIに関する基礎的な知識やスキルの習得を目標としています。身近な事例を手がかりに、データ・AIを活用する価値やリスク、Excelを用いた初歩的なデータ分析を学びます。

授業は、事前に動画などで予習して授業に臨む「反転授業」形式です。教室では、グループワークや実習など仲間と協力しながら楽しく課題に取り組み考察を深める機会を設けます。こうしたアクティブ・ラーニングを通じ、データ・AIを日常生活やビジネスで前向きに活用できる人材を育成します。



経済経営学部
2年
さいとう りく
齋藤 凜空

データを分析する方法だけでなく、AIを活用する際の考え方や注意点についても学ぶことができました。また、実際に自分でAIを活用し学習をする授業だったため、理解しやすく、とても有意義な授業でした。

▼ 授業を担当する情報処理教育センター教員



入学当初のパソコンスキルと、受験のきっかけは何ですか？

榎本 私はパソコンも持っておらず、高校の情報の授業で多少触った程度でした。特段苦手というわけでもなかったのですが、「自分にどこまでできるかな？」というフラットな状態からのスタートでした。情報処理教育センターの先生から学内受験や受験料補助制度の話聞き、サポートが手厚そうだったので「最初の一步」として挑戦を決めました。

毛塚 私は高校でビジネス科に在籍していたので、ExcelやWordはある程度触れていました。だからこそ大学では、自分のスキルを「資格」という客観的な形で証明したいという思いがありました。

清水 私は「限られた時間をいかに有効に使うか」を重視していました。MOSに早期合格すれば、秋学期の1年次必修の授業が単位認定され、自分の時間(空きコマ)を作れます。その時間を他の活動に充てたいという、前向きな「先取り学習」のつもりで挑戦しました。

3人ともExcel(一般レベル)を受験したのですが、具体的な勉強方法を教えてください。

清水 私は情報処理教育センターのパソコンで試験対策ソフトの解説アニメーションを見ながら勉強しました。予約な

Sparkle

CROSSTALK

単位の先に見つけた「自分の武器」 学内で掴む MOS 合格

学内で実施されている MOS (マイクロソフト オフィス スペシャリスト) 試験。「MOS 世界学生大会 2025」日本代表選考進出・入賞、ゼロからのスキル習得、戦略的な単位取得と、三者三様の目的で合格を手にしました。取材当日に初めて顔を合わせた彼らですが、学内のサポートを最大限に活用した経験は共通しています。それぞれの挑戦の軌跡と、未来への展望を語り合ってもらいました。



けづか そういちろう
毛塚 壮一郎

メディア情報学部 3 年



えのもと しゅうすけ
榎本 周助

メディア情報学部 2 年



しみず ゆうか
清水 優花

法学部 2 年



しでいつでも利用できる環境はありがたかったです。何より、自分が受けたい時にいつでも学内受験できるシステムだったので、自分で期限を決めて焦らずに取り組めたのが良かったです。

榎本 私はメディアセンターに通い、常設PCにインストールされている試験対策ソフトをひたすら反復しました。学内で受けられて、受験料も半分も戻ってくるという「手軽さ」が、私や周りの友人が受験する一番の要因になりました。

毛塚 私も受験料補助のおかげで、気

楽に挑戦できました。私は大学内だけの勉強だと時間が足りないと感じたので、同じ目標をもった友人を誘って本屋でテキストを買い、自宅でも対策ができるよう環境を整えました。大学でも自宅でも試験対策に取り組める環境があったことが、合格への自信に繋がったと思います。

合格したことでご自身の心境に変化はありましたか？ また、実際の授業や課題で、そのスキルが役立つ実感はありますか？

榎本 まずはホッとしました。自分で立てた目標を達成できたというプロセスそのものが、「自分もしっかり結果が出せるのだ」という大きな自信になりました。また、プレゼン資料を作る際、説得力を上げるグラフを作成・挿入することに対する心理的なハードルが圧倒的に下がりました。WordやPowerPointなど、他のOffice製品と操作が共通している部分があるので、資格勉強を通じた「慣れ」が、今の課題制作全体に活きていると感じます。

毛塚 私は今回Excel（一般レベル）で満点合格し、全国の上位20人に選ばれ、「MOS世界学生大会2025」の国内選考で入賞することができました。大学生活のスタートで、全国レベルの明確な

実績を残せたことは大きな誇りです。また、昨年の「データリテラシー演習」の授業で、国勢調査のデータをまとめてグループ発表する課題がありました。私が資格を持っていることは知られていたもので、班の中で資料作成を一手に引き受けることになったんです。先生と相談しながらではありますが、スムーズに作成することができ、実用的な強みが身についたことを実感しました。

清水 私はこれまで資格と呼べるものになかったのですが、自分の武器が一つできたのは良かったです。自分の強みを客観的に示せるようになったと感じています。

培ったスキルを将来どう活かしたいですか？

清水 学内で完結できる仕組みのおかげで、自分のベースで基礎を作れました。これが社会に出た時のスムーズな滑り出しに繋がると思っています。

毛塚 就職活動で、企業から「何か資格を持っていますか？」と聞かれた時、基礎レベルだけだと正直引け目を感じてしまうと思います。どうせなら、在学中に全科目で「上級レベル」まで取りたいです。ただ、業務内容や実際に操作する人によって使いやすさは異なると思うので、全てを完璧に覚えて使いこなすとい

うよりは、新しい技術も習得しやすい「基盤」を作っておくイメージで取り組んでいます。

榎本 入社後、教育係の方の手を少しでも煩わせることなく、スムーズに業務に入りたいと思っています。正直、この資格はビジネスシーンにおける「基礎の基礎」なので、この資格があるからといって何とでもなるとは思いません。ですが、この基礎の有無で作業効率は格段に変わるはずですし、信用を得るための確かな足掛かりになれば嬉しいです。

最後に、資格挑戦を迷っている後輩たちへアドバイスをお願いします。

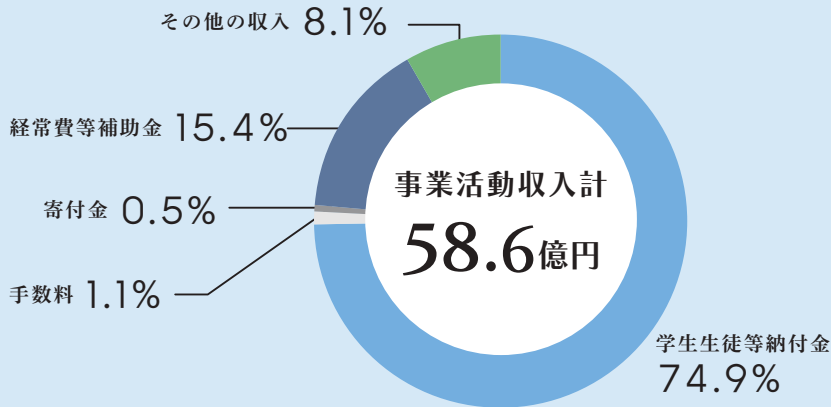
清水 勉強の支援、受験、受験料補助まで学内で完結している環境は、本当に素晴らしいと思います。興味があるなら一歩踏み出してみて損はないと思います。

毛塚 大学には、失敗を恐れず何度も練習できる場があるので、そこで、自分の苦手なところを見つけることも大切だと思います。安心してどんどん壁にぶつかっていつてほしいですね。

榎本 MOSは成功体験を得るための「入り口」として最適です。ここでの合格が自信になり、次の新しい挑戦への流れを作ってくれるはずです。

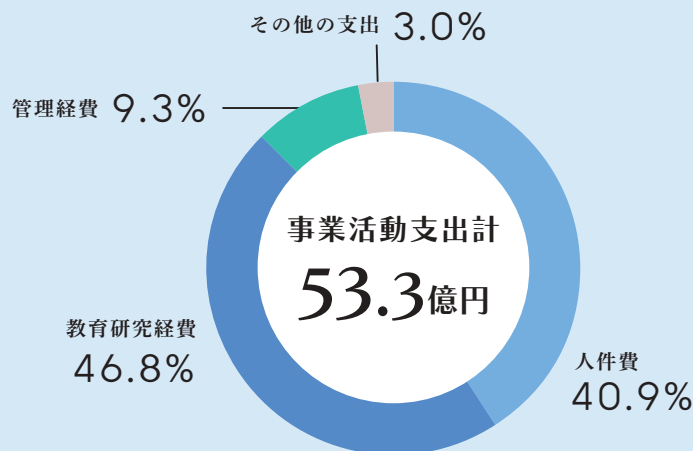
2025年度(令和7年度)決算 学校法人駿河台大学の財務状況

—— 事業活動収入



事業活動収入合計（教育活動収入、教育活動外収入及び特別収入の合計）は58億5,667万円となり、前年度比で2億933万円の増加となりました。主な増加要因としては、修学支援新制度の対象者増による補助金収入の増加が挙げられます。

—— 事業活動支出

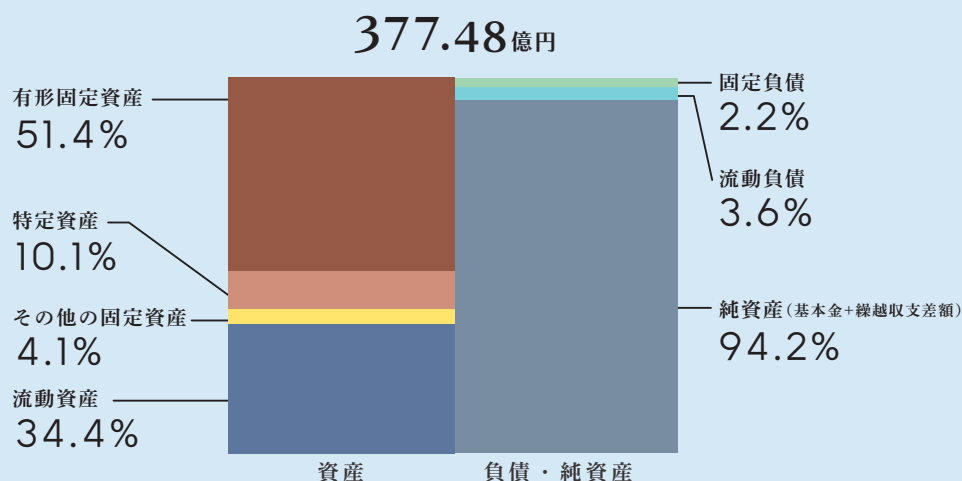


事業活動支出合計（教育活動支出、教育活動外支出及び特別支出の合計）は53億3,330円で、前年度比で3億9,231万円増加しました。主な増加要因としては、修学支援新制度の対象者増による教育研究経費の増加が挙げられます。

事業活動収入から事業活動支出を差し引いた基本金組入前当年度収支差額は5億2,337万円の収入超過となりました。

事業活動収入・支出は、当該年度の教育活動、教育外活動、特殊な要因によって発生した臨時的な活動に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにするものであり、貸借対照表は、年度末での財産状態を表しています。

—— 貸借対照表



資産は2025年度に購入した有価証券の計上を主な要因として、前年度より3億1,997万円増加し、377億4,796万円となりました。

負債総額（固定負債、流動負債の合計）は学費徴収方法の変更により、2026年度新入生の前受金が減少したのを主な要因として、前年度より2億340万円減少し、22億848万円となりました。負債総額の総資産に対する総負債比率（小さい値ほど良い）は5.9%で、「今日の私学財政（日本私立学校振興・共済事業団発行）」の令和6年度の大学法人全体（医学部・歯学部系法人を除く）の平均11.6%を下回っており、負債の少ない財政状況を示しています。

資産総額から負債総額を差し引いた「純資産」は前年度より5億2,337万円増加し、355億3,948万円となりました。

学校法人は、財務情報の公開を行うことが義務付けられています。また私立学校の収入源が学生生徒等納付金や国及び地方自治体の補助金などで賄われていることから、広く大学の経営環境に対する理解を得るために、透明性の確保に努めなければなりません。

本学では、ホームページにおいて財務諸表を始め事業計画書及び事業報告書を積極的に公開しています。ここでは2025（令和7）年度の決算についてグラフを用いて公開します。公開により、学校法人としての公共性を高め、さらに今後の本学の発展につなげていきたいと考えています。



駿河台大学 財務状況公開ページ

<https://www.surugadai.ac.jp/about/finance.html>

財務部財務課

駿河台大学の活動報告 *activity report*



入間市おとろう祭りに参加

2026年4月18日・19日

入間市の愛宕神社で行われた「おとろうまつり」に、授業「まちづくり実践」の履修者や野球部・ラグビー部の学生延べ70名以上が参加しました。学生たちは山車曳き等の活動に携わり、地域の方々からお祭りに活気を与えてくれたと感謝の声が寄せられました。地域の文化に触れ地域の方々と交流する中で、コミュニケーション能力や協働する力を養う貴重な経験を得ることができたようです。



2026年度 教育実習直前指導を開催

2026年4月30日

教育実習を間近に控えた4年次生80名を対象に「2026年度 教育実習直前指導」を開催しました。教職課程を担当する教員も同席し、実習校でのマナーや生徒との向き合い方について実践的なアドバイスを行いました。先生方からの温かく熱い激励のメッセージを受け、学生たちは実習生としての心構えを再確認し、緊張感と期待を高めていました。実習校での経験を通じた学生たちの大きな成長が期待されます。



変形菌の写真展示会を開催

2026年4月30日～6月27日

メディアセンター1階エントランスギャラリーにて、マクロ写真家である熊崎政利氏の写真展が開催されました。飯能市にも息づく小さな生命体「変形菌」をマクロレンズで捉えた作品が展示され、肉眼では見えにくいほど精緻で不思議な世界が広がりました。神秘的な自然の造形美を間近に感じられる貴重な機会となり、多くの来館者を魅了しました。



メディア情報学部の学生が「はんのう夏至祭」に密着

2026年6月21日

昨年度に引き続き、フィンテック グローバル株式会社との産学連携事業が始動し、メディア情報学部の学生たちが、メッツァで開催された「はんのう夏至祭」の撮影に挑みました。5月22日のロケハンを皮切りに、6月21日までの計8日間、広大なエリアを駆け巡り無事に撮影をやり遂げました。完成した映像は8月に本学の公式YouTubeチャンネルにて公開予定ですので、どうぞご期待ください。



公式HP



公式X

その他の活動、最新情報は大学HPやXで更新しています。
ぜひご覧ください。



「奥むさし駅伝競走大会」本学理事長が会長就任

2026年5月27日

飯能市が進める緊急財政対策に伴う事業見直しにより、行政主導による当大会の休止が決定していましたが、市民や陸上関係者からの強い要望に応える形で、民間主導で再開されることになりました。大会会長には山崎志保理事長、大会実行委員長には狐塚賢一郎教授が就任します。また、事務局長は、本学駅伝部OBの高橋亮磨さんが務めます。新たな運営体制で引き継ぐ第25回大会は、2027年1月31日（日）に開催予定です。



防災への取組として食体験を実施

2026年5月27日

地震を想定した防災訓練を実施し、その一環としてシダックスコントラクトフードサービス株式会社の協力のもと炊き出しメニューの販売を行いました。災害時に提供される食事のボリューム感を再現し、災害時の食事について考えることを目的とした企画です。参加した学生からは「1食の量が少ないことを実感した」「備蓄の大切さを学んだ」等の声が寄せられ、防災意識を高める貴重な機会となりました。



外国人留学生向け民間奨学金合格体験談を開催

2026年6月2日

外国人留学生を対象とした「民間奨学金合格体験談」が初めて開催されました。民間奨学金に採用された留学生2名が発案・登壇し、中国やベトナムなどを出身とする留学生が10名以上参加をしました。登壇者は学業とアルバイトの両立や、学内外の国際交流活動へ参加する重要性について語り、「やらない後悔よりやる挑戦」という力強いメッセージを伝えました。参加者にとっても大いに刺激を受ける有意義な時間となりました。



タイピングコンテスト開催

2026年6月15日～6月26日

学生のタイピング能力向上を図ることを目的に、「タイピングコンテスト」を実施いたしました。開催期間中は1年生から4年生まで学年問わず、多くの学生の参加がありました。コンテストで上位に入賞した学生には賞品が贈呈され、その入賞者の中でさらなる頂点を決める「王者決定戦」も併せて実施いたしました。激戦をくぐり抜け、見事優勝を掴み取った王者には、トロフィーと目録が贈呈されました。

限界を超える！
駿大スポーツ

不屈の魂で挑む世界の激流

カヌー部



スポーツ科学部 1年 齋藤 徹平 選手

神奈川県出身。高校時代までコーチとして支えた父の言葉と兄弟への憧れを自分の力に変えた。葛藤の末に真の挑戦者へと変貌を遂げ、在学中の五輪出場とメダル獲得を狙う、本学期待の超新星。

葛藤のスタートから日本代表へと覚醒

兄二人がボートに乗る姿を間近で見て、逞しい姿に憧れを抱き、小学1年生でカヌーを始めた。当初は「練習が嫌で泣きながらボートに乗る日々もあった」という。しかし、切磋琢磨し、高い壁となつて立ちはだかる兄の背中を追い続け、次第にその才能を開花させていく。高校2年生で成績が振るわず悩んだ時期は、当時コーチだった父から「お前のピークはまだまだ先だから焦らないでしっかり入念に準備していこう」と声をかけられた。この一言で心にゆとりが生まれ、トレーニングを根本から見直す大きな契機になったという。現在は世界で戦う兄弟と共に日の丸を背負うまでに成長。かつての葛藤を乗り越え、一族の誇りをパドルに込めて世界の荒波を鋭く見据えている。

精密な技術で激流をねじ伏せる

最大の武器は、大舞台の一発勝負でも動かない「強靱なメンタル」と、激しい潮流をミリ単位の精度で攻略する「スムーズなコース取り」だ。あえてルーティンを決めず、予期せぬ環境変化にも柔軟に対応する独自のスタイルを貫いている。競技の醍醐味は、逆流を遡る難所な

どで進入角度や加速のタイミングを緻密に計算し、イメージ通りにボートを操ることにある。「自分の理想とするラインが完璧に決まり、波を味方につけて一気に加速した瞬間の快感」こそが練習の原動力だ。本番での勝負強さと、波を読み切る卓越した技術は、これから挑む世界の難コースを攻略する上で、最大の強みとなる。

在学中の五輪メダル獲得へ

「学業とカヌーの確実な両立」という確信を胸に、本学スポーツ科学部の門を叩いた。入学わずか2ヶ月でワールドカップと世界選手権の切符を掴み、今夏はチェコ、ドイツ、ポーランド、アメリカを転戦する世界大会に挑む。スポーツを科学的に学び、理論に基づいたトレーニングでさらなる高みを目指す目標は、在学中のオリンピック出場と悲願のメダル獲得だ。キャンパスで学ぶ仲間には「大學生は人生で一番自由な時。この貴重な機会を逃さず、僕と一緒にいろんなことに挑戦しましょう!」と、自らも挑戦者として共に歩むエールを贈る。学業と競技を高いレベルで両立させながら、若き新星が、新たな激流へと漕ぎ出す。

2026年度 表彰学生発表

●学業成績優秀奨学生 前年度までの学業成績及び人物が特に優れている学生に対し奨学金を給付する制度です。

法学部	最優秀奨学生	4年	小林涼音	3年	篠田祥太	2年	1名
	優秀奨学生	4年	白石湖子	竹花治翔	引間哀斗	貫井萌絵	他2名
		3年	田中善大	梅田智広	後藤魁杜	新海美樹	高橋果穂 矢部希莉弥
		2年	平川友稀	遠藤媛俐	島田力	室谷天弥	他2名
経済経営学部	最優秀奨学生	4年	奥田啓冴	3年	佐久間彩那	2年	井上智哉 佐藤俊治
	優秀奨学生	4年	小田悠翔	野澤湧弥	伊藤里是	倉島かえで	野本泰生 他1名
		3年	NGO CHI HIEN	櫻井蒼生	佐々木大夢	岩井健太	林大晟 熊本吉希
		2年	浅野凌雅	翁悠月	MONGOLKHUU UNDRAXH	YANG FAN	高橋燦太
メディア情報学部	最優秀奨学生	4年	菅野結	3年	飯村文美	2年	伊藤美月
	優秀奨学生	4年	藤原世望	山崎可南子	森谷佑海	小山優子	西貝和佳奈 藤森啓介
		3年	岩崎夕津夏	青木咲英	小澤彩加	板垣花菜	他2名
		2年	越中小梅	榎本周助	五十嵐和心	小坂奏愛音	司田敦也 根岸紗弥 他1名
スポーツ科学部	最優秀奨学生	4年	高橋侑大	3年	米谷匠未	2年	1名
	優秀奨学生	4年	大野怜旺	菅原優	熊倉菜々美	林秀紀	黒川心羽 杉田凌馬
		3年	宮本姫佳	青戸美久理	大脇知也	三上琴乃	他2名
		2年	喜多川実瑚	峯岸維吹	香川穂乃佳	武田仙之介	金澤勇人 持田遥斗
心理学部	最優秀奨学生	4年	田中完武	3年	菅野理世	2年	桑野祐希
	優秀奨学生	4年	石谷紗恵子	神戸遥	服部桐也	清水風優人	三上詩織 他1名
		3年	西巻春菜	安田夢果	岩田蒼	東遼太郎	佐藤洋斗 加藤穂花
		2年	齋藤寿珠	大槻虎琉	他4名		

●学部長賞 課外活動等において顕著な活動をした学生・学生団体、前年度までの学業成績が優秀な学生が表彰されます。

法学部	団体	法学部女子会	法律相談部	松平ゼミ	選挙サポーター	笹岡ゼミ「Aチーム」	3年	新海美樹
経済経営学部	4年	上床重隆	栗山沙月	丸毛萌愛	3年	長田煌世	2年	菊地真優 日高夏芽
メディア情報学部	4年	井田慎太郎	善財才稀	田中愛斗	中西胡桃	長嶺里沙	服部彩希	増茂聖 矢澤未久翔
		渡辺彩夏	3年	上野桃佳	佐俣琉貴	2年	田島杏菜	
スポーツ科学部	4年	青山立華	磯間翔太	江原諄	大島幹太	亀田健太郎	熊倉菜々美	神津陽向
		後藤田陸	小柳陸斗	小山凌太郎	坂本陽斗	柴崎幹也	鈴木平太郎	鈴木飛雄馬 高田星真
		武末陸	濱田大志	舟生靖菜	松本隼	宮崎翔空	村井太樹	森田滯耀 山下陽生 他1名
	3年	石塚心羽	河淵大飛	佐竹勇人	佐藤晴基	出沖駿太	2年	江口世涉 中村英志 山口碧流
心理学部	4年	高木雄生	渡邊星河	3年	黒崎友馨	藤枝幸希	2年	唐木航大 他1名

●スポーツ年間特待生 スポーツ競技成績及び人物が特に優れている学生に対し奨学金を給付する制度です。

法学部	4年	奥山桃花（陸上競技部）				
経済経営学部	4年	山崎翔太（男子ホッケー部）				
スポーツ科学部	4年	石月七星（女子ホッケー部）	3年	今川亮汰（カヌー部[スラローム]	2年	辻来空（陸上競技部）

Circle and Me

学業とサークル活動を両立して成長している
学生を紹介します。



DICE（ボードゲーム・TRPG・創作活動）× 牧田 七海さん [メディア情報学部・2年]

「DICE」に所属したきっかけは何ですか？

四月祭のブースでチラシをもらい、体験会に参加したのがきっかけです。元々ボードゲームやTRPG（テーブルトークRPG）に興味がありましたが、何より会場にいた先輩たちの雰囲気が自分に似ていると感じ、「ここなら単純に楽しめそう」と直感したことが入会の決め手になりました。

どのような活動をしていますか？

週に3回、学内の教室を借りてボードゲームを楽しんだり、学部を超えた仲間との交流を楽しんでいます。DICEは創作系サークルとしての側面もあり、絵や小説、ゲームのシナリオなど、メンバーの自作の作品を持ち寄り、学園祭で展示する「サークル誌」を一冊の本にまとめて制作しています。特にTRPGでは、自分たちで一から考案したオリジナルキャラクターを演じながら物語を進めていくという、対面ならではの面白さを共有しています。

大学での学びがサークル活動に活かされた瞬間はありますか？

メディア情報学部の授業で学んだ技術が、サークルでの円滑な交流に直結しています。「テクニカルコミュニケーション基礎」で学んだ、相手に分かりやすく伝えるための情報の優先順位付けは、初

めてゲームに触れる人にルールを説明する際に非常に役立っています。また、「知覚・認知心理学」で学んだ、人によってものの見え方や感じ方が異なるという視点は、カードのイラストを誰にでも伝わる言葉で説明する際に応用できています。

サークル活動を通じて成長を感じたことはありますか？

高校時代までは人と話すのがあまり得意ではありませんでしたが、DICEで多様な学部の仲間と過ごすうちに、今では自分から「遊びに行こう」と誘えるほど社交的になりました。このサークルは「来たい時に来ればいい」という温かい雰囲気があり、私にとって大切な「居場所」です。人との接し方や向き合い方を変えるきっかけをくれたこの場所に、とても感謝しています。

今後の目標は何ですか？

今後は、まだ知らないボードゲームの世界に触れ、新しい知識をどんどん吸収していくとともに、サークルの仲間と学外での旅行など、新しい活動にも挑戦していく計画です。

サークル活動で培った「相手の意見に耳を傾ける協調性」を活かし、将来は多様な価値観をまとめ上げ、周囲と協力して一つのものを作り上げられる社会人を目指します。